

緊急質問

新型コロナウイルスへの対応について

Q 休校や施設の休館、不要不急の来庁の自粛等の対応をとった経緯について伺う。

A 健康福祉部長
国からの小中学校の臨時休校の要請を受け、2月28日に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、小中学校の休校の判断を行った。

集まることによる感染のリスクが高いことから、市関連団体のイベントの中止、市が開催する各種会議の延期あるいは中止、施設の休館の方針を決定した。併せて本庁および各総合支所への来庁自粛を要請した。

Q 中学校休校に伴う高校受験、合格発表後の対応について伺う。

A 教育長
受験当日までの電話や家庭訪問による指導のほか、受験前日に登校日を設け、受験指導をすることとしている。当日は引率をし、合格発表後は、適切なフォローアップをすること進めている。

緊急質問とは
天変地異、突発的な出来事の発生などに際し、または執行部の政治責任などに関し、あらかじめ発言通告書を提出することなく、議会の同意を得て行う質問のことです。

3月3日の本会議冒頭、新型コロナウイルス感染症への対応について、市長および教育長から報告がありました。これに対して、鎌田幸也議員が緊急質問を行いました。

今般、開かれた議会づくりの取り組みとして、より一層市民の皆さまに議会を知っていただくため、令和2年6月定例会から、同時中継に加え、本会議等の様子を録画した映像等をインターネット上で配信する予定です。

現在は、議会の状況を議会だよりやホームページに掲載するほか、インターネット上での同時中継や、FMはなまきによるラジオ放送および東和地域の有線放送などで本会議の様子についてお知らせするなど、さまざまな方法により情報発信を行ってきました。

今後は、同時中継と同様に市議会のホームページの外部リンクから、一般質問



を含む本会議、予算特別委員会および決算特別委員会の模様を、市民の皆さまの都合の良い時間に視聴できるようにいたします。

ぜひ多くの市民の皆さまにご覧いただきますようご案内いたします。

令和2年6月定例会から配信予定

本会議等の録画配信が始まります

Q 菅原ゆかり 議員
乳がんの早期発見には、定期検診と自己検診が最も重要。乳がんグローブは小さなしこりまで見つけやすい自己触診補助具だが、検診年齢前の若い方に配布する考えについて伺う。

A 市長
乳がん触診モデル（実物模型）を乳がん検診会場や子宮頸がん検診会場に設置し、乳がんのしこりの感触を体験



早期発見のセルフチェックに効果的な乳がんグローブ

Q 藤井幸介 議員
糖尿病の予防に対する取り組みについて伺う。

A 市長
本市では、平成29年度に花巻市医師会の協力をいただきながら、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを作成し、平成30年度から当該プログラムに基づいた取り組みを行っており、一定の効果があつたと評価している。

験していただいている。セルフチェックの必要性を理解していただくため、まずはパンフレットの配布や触診モデルの体験を通じて正しいチェック方法を周知するとともに、乳がんグローブが一般的に知られていないことから、検診会場でその存在を紹介していきたい。

投票率向上
Q 大原 健 議員
若者の投票率向上にむけて、有効な方策についての検討内容を伺う。

A 選挙管理委員会 委員長
高校生に実施している選挙啓発授業を、学校現場と協議しながら小中学校でも進めていきたい。パンフレットや冊子、啓発グッズの配布など若年層の投票率向上のためのさまざまな取り組みを継続していく。

空き店舗対策
Q 藤井幸介 議員
マルカンビルに、市の行政機能の一部を移転する考えはないか伺う。

A 市長
市街地の活性化策として行政機能の一部を民間不動産に移す事例はあるが、行政機能の分散は、市民の方々に不便をきたす。また業務遂行上、大変不便であるため、現時点で行政機能の一部を移転する考えはない。

若者会議
Q 大原 健 議員
若者会議の創設についての所感を伺う。

A 市長
次世代を担う若者の声を聞き、その力を育み引き出していくことは、重要な課題である。地域づくりへの参加を進めるためにも、まちの形成の推進に関する施策を市長に答申する若者会議は、声があれば真摯に対応していく。



議会で開催した成年後見制度の講演会

成年後見制度
Q 久保田彰孝 議員
市民後見人の育成について伺う。

A 市長
成年後見人業務を適切に行うことができる人材は、制度の法的知識、各種福祉制度、福祉サービスに関する理解に加え、より高い倫理性を求められることから、市民後見人を育成していくことは大変難しいと考えている。